

みずば

第1号

発行日 平成18年10月31日

発行 板倉町教育委員会 文化財保護係

TEL 0276 (82) 1111 内157

ふるさとの当たり前風景

板倉らしい風景の再発見

そこには皆さんの忘れていた
「板倉らしさ」が眠っています。

毎日見慣れた風景ですが、その風景を先人たちはどのような思いで眺めていたことでしょうか？現在の板倉の風景は、まさにその先人たちの想いによって培われてきた風景なのです。

洪水の多いこの板倉の風土と向き合いながら、先人たちが懸命に築き上げてきた、この世界の中で、ここにしかない「板倉らしい」風景なのです。

この「板倉らしい風景」は、先人と現代に生きる私たちをつなぐ架け橋であり、その風景の中に、きっと未来の「板倉らしさ」を考えていく手がかりがあるはずです。



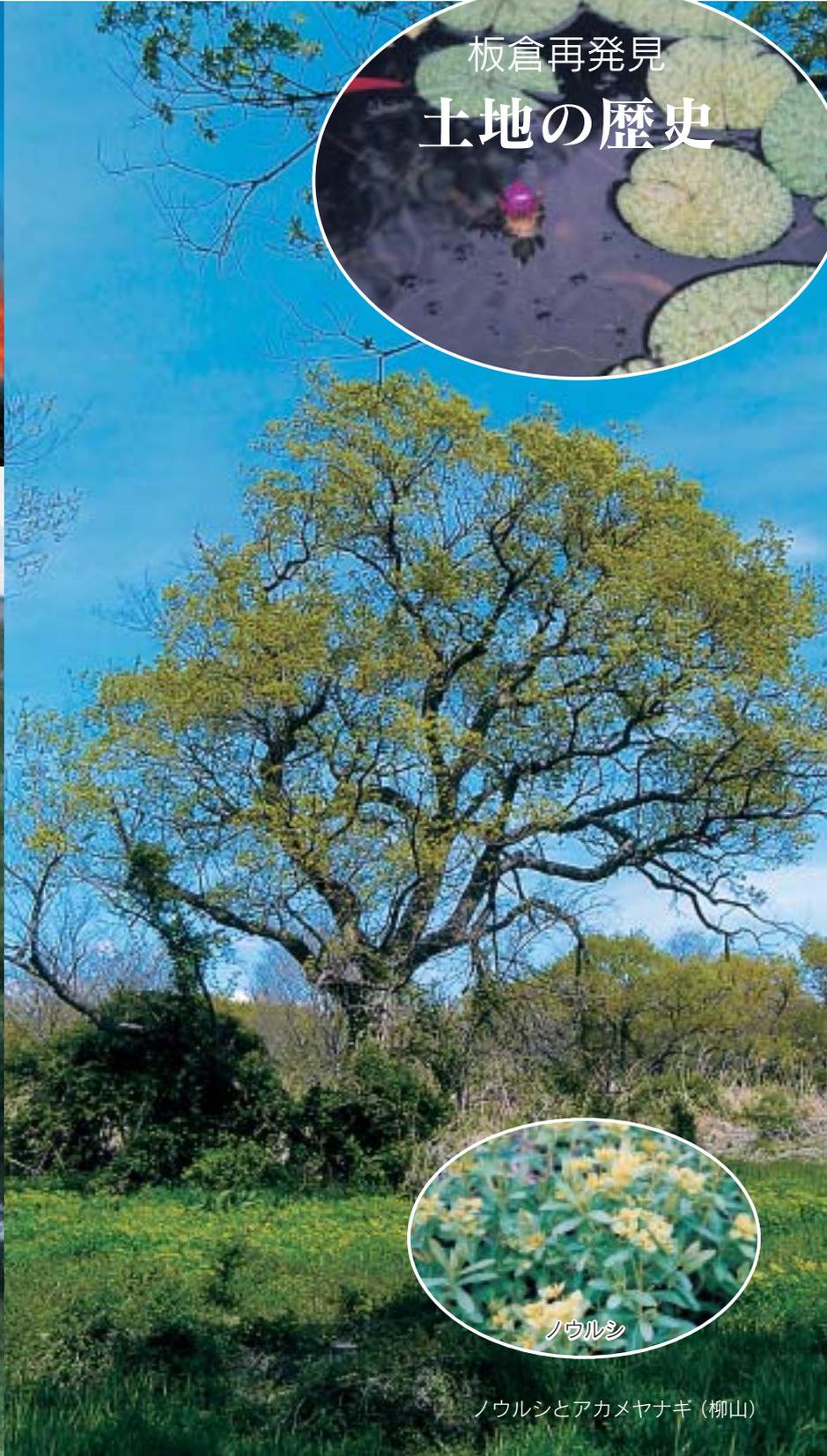
ヨシ焼き（渡良瀬遊水地）



ヨシ原（渡良瀬遊水地）



通り前橋（海老瀬）



板倉再発見
土地の歴史

ノウルシ

ノウルシとアカメヤナギ（柳山）



盆送り (美城堀)



キリゴミ (蛭田沼)



人々は、水害を克服し、翌年の豊作を待ちつつ、豊かな文化を育み、特色ある地域性を作り出してきました。

美しい景観ではなく、ほっとするものを感じる「板倉らしい景観」を50年後、いや100年後の孫たちにも感じてもらえるよう伝えていきたいと考えています。

板倉の水郷景観保存計画策定委員会だより

文化的景観*の調査・保存計画策定、普及啓発事業等の審議検討、さらには「板倉らしさ」の追求のため、有識者・住民・行政で組織したものが「板倉の水郷景観保存計画策定委員会」です。

17・18年度に調査、19年度に保存計画の策定を行います。

自然堤防上**に築かれた集落には、水塚をはじめとする低地特有の文化が今も生き、伝えられています。さらに谷田川流域には、薪をとるために作られた柳山や川田そして堰など低地の特性が随所に見られます。

町ではこの水場特有の景観を、後世に伝えていきたいと考えています。

*文化的景観

「人と営みの関わりの中から生まれた景観」を言います。「人間の手が加わることで守られていく景観」という新しい文化財の考え方です。なかでも地域独特の景観を守っている重要な地域が「重要文化的景観」となります。

**自然堤防

川が運んだ土砂によって、自然に作られた堤防のことを言い、少し高い地域となります。

(例：海老瀬字中新田から下新田・大曲から離など)

